

第80期 中間報告書

2012.4.1 ▶ 2012.9.30

T H E W A Y
O F
M U T U A L
P R O G R E S S

時代とともに、顧客とともに。

「共々の道」という理念をカタチに。

THE WAY OF MUTUAL PROGRESS

油(ユ)・脂(シ)・蠟(ロ)を主原料とする化学技術と、独自のブレンド技術を駆使し、戦後いち早く復興した繊維産業への経糸糊付用油剤を皮切りに、自動車産業・鉄鋼産業への金属加工油剤やビルメンテナンス業界に向けたケミカル製品など、時代を先取りする製品を開発・供給することで、わが国基幹産業の発展に貢献してきました。

創業者の提唱した企業理念「共々の道」は、お客様とユシロの、地域社会とユシロの、そして社員とその家族とユシロの「共々の道」であり、この理念によって、お客様の深い信頼と温かいご愛顧を頂けたものと信じております。

「共々の道」は半世紀の時空を越えて全社員の中に生き続いており、今後も永遠に受け継いでまいります。

企業理念

「共々の道」

社 是

「独自の風格ある製品」
「間口よりも興行きのある研究」
「進歩は常に需要とともに」

第2四半期財務ハイライト(平成24年9月中間期)

		連結決算
売上高	(百万円)	11,988
営業利益	(百万円)	522
経常利益	(百万円)	794
四半期純利益	(百万円)	558
1株当たり四半期純利益	(円)	40.30
純資産	(百万円)	20,680
総資産	(百万円)	29,292
自己資本比率	(%)	65.9

(注)本報告書中の財務諸表等の記載の金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

株主の皆様へ



代表取締役社長

大 須 栄 一

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、当社第80期第2四半期（中間期）の事業の概況についてご報告申し上げます。

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、欧州での債務危機の長期化に加え、景気を牽引してきた中国経済に減速感が始める等、先行き不透明感が急速に強まっております。我が国の経済においては、震災復興特需やエコカー補助金の効果もあり一部に持ち直しが見られましたが、世界経済の減速と円高の影響を受けて輸出が伸び悩み、下振れ懸念を抱えた不安定な状況で推移しております。

当社の主要顧客の属する自動車業界は、震災直後の稼働率低下から立ち直り、自動車生産台数が前年同期に比べ大幅に増加しました。

このような状況下、売上高は前年同期を大きく上回る日本や、日系以外の自動車関連メーカーへの拡販に努めた米国等での好結果から増収となり、前年同期比2.9%増の11,988百万円となりました。

利益面では、国内外での原材料価格の高騰や円高が響いたものの、売上高が大幅に回復した国内での収益に支えられ、営業利益は前年同期比23.3%増の522百万円となりました。経常利益は持分法投資利益が増加したことにより前年同期比18.3%増の794百万円となりました。四半期純利益は前年同期比37.0%増の558百万円となりました。

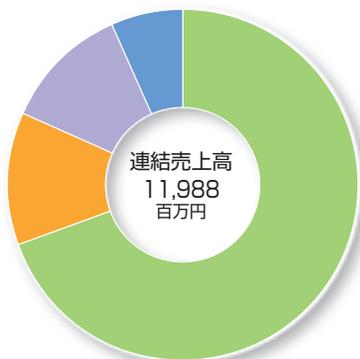
今後の見通しにつきましては、国内では震災からの復興とともに補助金効果もあり当社の収益も回復の兆しがありますが、歴史的な円高や中国での日系自動車の減産が、当社の連結経営成績に悪影響を及ぼす可能性があります。また、当社製品は原油や天然油脂等を由来とする原材料の構成比率が高いため、これらの相場の高騰への対応が重要な課題となります。

このような環境のもと、当社は自動車生産台数の伸長が期待される地域を中心に経営資源の投入を継続してまいります。当期に開業したインドネシアでは生産・販売活動が順調に進展しており、インドでは製造設備の着工を計画しております。また、メキシコでの製造設備設置に向け調査を開始しております。そしてグローバルベースでテクニカルセンターを再編し、原材料の見直しを含め顧客に最もマッチした仕様・対応・サービスを提供できる研究開発体制を整備することにより、長期的に持続可能な利益創出を目指してまいります。

株主の皆様におかれましては、今後ともなお一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成24年12月

セグメント情報 (平成24年4月1日から平成24年9月30日まで)



日本 69.5%

南北アメリカ 12.3%

中国 11.6%

東南アジア/インド 6.6%

●日本

金属加工油剤事業は、国内自動車生産台数が前年同期に比べ大幅に増加した影響を受け、売上高は前年同期を大きく上回りました。

また、ビルメンテナンス製品事業では、高付加価値製品の拡販による収益改善に努めました。

その結果、売上高は前年同期比6.1%増の8,333百万円となりました。セグメント利益（営業利益）は、売上高増加の影響で、前年同期比461.7%増の366百万円となりました。

●南北アメリカ

米国では、好調な自動車業界に牽引されるとともに積極的な販売活動が奏功し、売上高は順調に伸ばしました。ブラジルでは、自動車生産台数の減少と円高の影響が大きく、売上高は前年同期を大きく下回りました。

その結果、売上高は前年同期比1.7%減の1,468百万円に留まり、セグメント利益（営業利益）は原材料価格の高騰や円高の影響もあって、前年同期比44.2%減の74百万円となりました。

●中国

中国では、日系自動車メーカーの生産が堅調に推移したものの、輸出が全般的に停滞し始め、主要顧客の鉄鋼会社でも生産量が大幅に減少しました。

その結果、売上高は前年同期比7.5%減の1,394百万

円となりました。セグメント利益（営業利益）は、原材料価格の影響もあり、前年同期比39.6%減の100百万円となりました。

●東南アジア/インド

東南アジア各国では、二輪車、自動車産業が好調に推移しました。インドでも、日系自動車メーカーを中心に積極的な販売活動に努め、売上高を伸ばしました。一方、インドネシア子会社の工場本格稼働に伴い、マレーシアからインドネシアへの輸出が減少しました。

その結果、売上高はインドネシアでの出荷開始時期の

ずれもあり、前年同期比0.6%減の791百万円となりました。セグメント利益（営業利益）は、原材料価格の高騰やインドネシアにおける営業活動の本格化による経費増等があり、16百万円の損失（前年同期は69百万円の利益）となりました。

売上高

		当第2四半期		前第2四半期		増減率(%)
		金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)	
日本	外部顧客に対する売上高	8,333	69.5	7,857	67.4	6.1
	地域間の内部売上高	245	—	214	—	—
	計	8,579	—	8,071	—	—
南北アメリカ	外部顧客に対する売上高	1,468	12.3	1,494	12.8	△1.7
	地域間の内部売上高	32	—	39	—	—
	計	1,501	—	1,534	—	—
中国	外部顧客に対する売上高	1,394	11.6	1,507	13.0	△7.5
	地域間の内部売上高	—	—	—	—	—
	計	1,394	—	1,507	—	—
東南アジア/インド	外部顧客に対する売上高	791	6.6	796	6.8	△0.6
	地域間の内部売上高	—	—	16	—	—
	計	791	—	813	—	—
消去（地域間の内部売上高の合計）		△278	—	△270	—	—
連結		11,988	100.0	11,655	100.0	2.9

セグメント利益（営業利益）

		当第2四半期		前第2四半期		増減率(%)
		金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)	
日本	計	366	70.3	65	15.4	461.7
南北アメリカ	計	74	14.2	133	31.4	△44.2
中国	計	100	19.2	165	39.1	△39.6
東南アジア/インド	計	△16	△3.2	69	16.4	—
消去（地域間の内部利益の合計）		△2	△0.5	△10	△2.3	—
連結		522	100.0	423	100.0	23.3

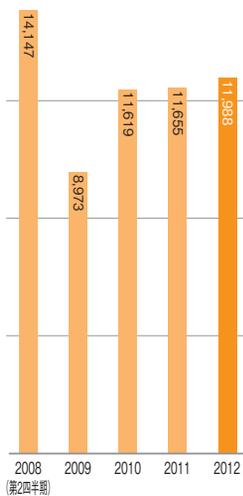
※各地域セグメントに属する国

- 日本 : 日本
- 南北アメリカ : アメリカ、ブラジル、メキシコ
- 中国 : 中国
- 東南アジア/インド : タイ、マレーシア、インド、インドネシア

連結業績推移

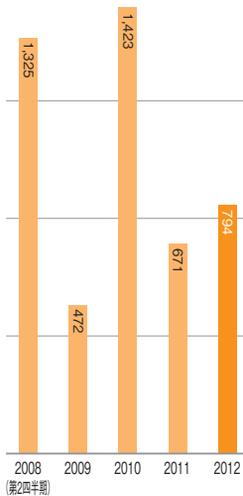
売上高

(単位：百万円)



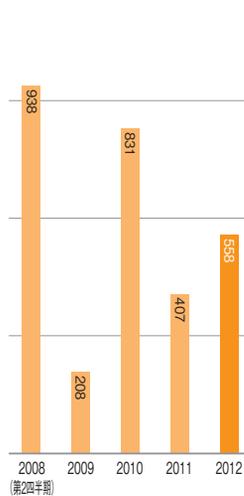
経常利益

(単位：百万円)



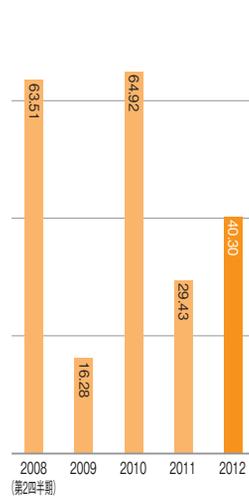
四半期純利益

(単位：百万円)



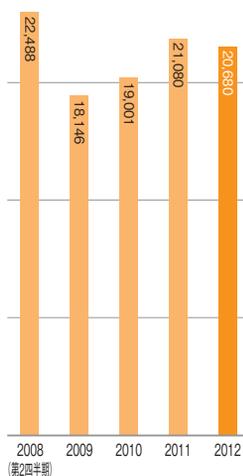
1株当たり四半期純利益

(単位：円)



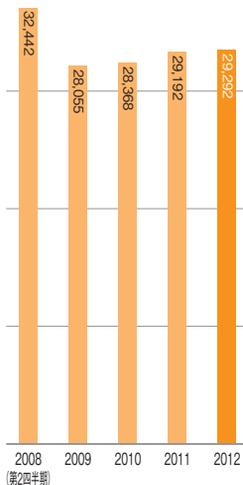
純資産

(単位：百万円)



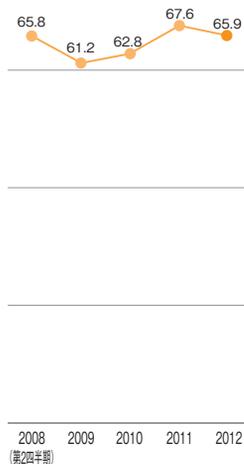
総資産

(単位：百万円)



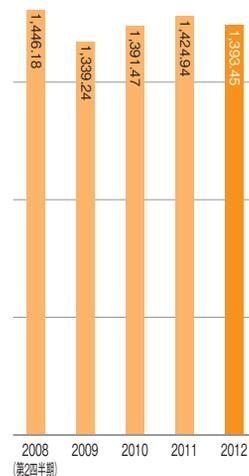
自己資本比率

(単位：%)



1株当たり純資産

(単位：円)



連結財務諸表

四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

科目	当第2四半期末 平成24年9月30日現在	前期末 平成24年3月31日現在
●資産の部		
流動資産	14,451	14,913
固定資産	14,841	14,049
有形固定資産	8,547	8,221
無形固定資産	481	324
投資その他の資産	5,812	5,503
資産合計	29,292	28,962
●負債の部		
流動負債	6,892	6,536
固定負債	1,719	1,735
負債合計	8,612	8,272
●純資産の部		
株主資本	23,559	23,236
資本金	4,249	4,249
資本剰余金	4,058	4,058
利益剰余金	16,705	16,382
自己株式	△1,454	△1,454
その他の包括利益累計額	△4,254	△3,835
その他有価証券評価差額金	△65	262
為替換算調整勘定	△4,189	△4,098
少数株主持分	1,375	1,290
純資産合計	20,680	20,690
負債及び純資産合計	29,292	28,962

資産の部

流動資産は、前連結会計年度末に比べ3.1%減少し、14,451百万円となりました。主な要因は、未取還付法人税が329百万円、現金及び預金が237百万円減少したことによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ5.6%増加し、14,841百万円となりました。主な要因は、投資有価証券が243百万円減少したものの長期預金が447百万円、建物及び構築物が224百万円、無形固定資産が157百万円、機械装置及び運搬具が148百万円増加したことによります。

負債の部

流動負債は、前連結会計年度末に比べ5.5%増加し、6,892百万円となりました。主な要因は、支払手形及び買掛金が108百万円減少したものの、短期借入金が353百万円増加したことによります。固定負債は、前連結会計年度末に比べ1.0%減少し、1,719百万円となりました。

純資産の部

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ0.1%減の20,680百万円となりました。主な要因は、利益剰余金が322百万円増加したものの、その他有価証券評価差額金が328百万円減少したことによります。

四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	当第2四半期 平成24年4月1日から 平成24年9月30日まで	前第2四半期 平成23年4月1日から 平成23年9月30日まで
売上高	11,988	11,655 ●
売上原価	8,577	8,424
売上総利益	3,410	3,230
販売費及び一般管理費	2,888	2,807
営業利益	522	423 ●
営業外収益	323	313
受取利息及び受取配当金	81	92
持分法による投資利益	211	164
その他	30	56
営業外費用	50	64
支払利息	12	13
その他	38	50
経常利益	794	671 ●
特別利益	1	7
特別損失	6	3
税金等調整前四半期純利益	789	676
法人税等	162	161
少数株主損益調整前四半期純利益	627	515
少数株主利益	68	107
四半期純利益	558	407 ●

売上高

売上高は、震災の影響から回復した日本と、日系以外の自動車関連メーカーへの拡販に努めた米国等での好結果から、前年同期比2.9%増の11,988百万円となりました。

営業利益

営業利益は、売上高が大幅に回復した国内での収益に支えられ、前年同期比23.3%増の522百万円となりました。

経常利益

経常利益は、持分法投資利益が増加し前年同期比18.3%増の794百万円となりました。

四半期純利益

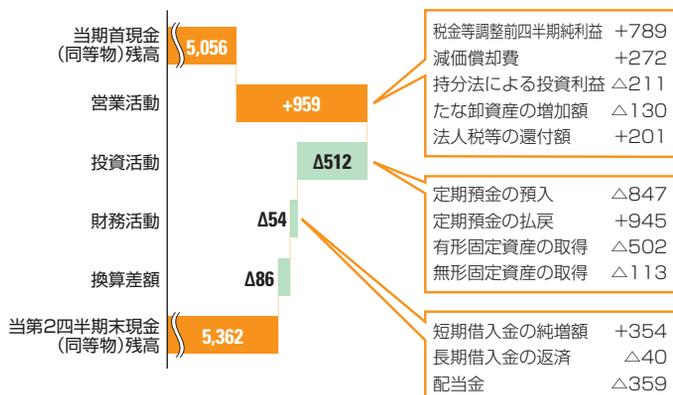
四半期純利益は、前年同期比37.0%増の558百万円となりました。

四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科目	当第2四半期 平成24年4月1日から 平成24年9月30日まで	前第2四半期 平成23年4月1日から 平成23年9月30日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	959	△189
投資活動によるキャッシュ・フロー	△512	△858
財務活動によるキャッシュ・フロー	△54	194
現金及び現金同等物に係る換算差額	△86	5
現金及び現金同等物の増減額	306	△847
現金及び現金同等物の期首残高	5,056	6,397
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,362	5,549

四半期連結キャッシュ・フロー（主な要因事項） (単位：百万円)



株式情報 (平成24年9月30日現在)

株式の状況

発行可能株式総数 29,180,000株

発行済株式数 15,200,065株

株主数 5,860名
(前期末比127名減)

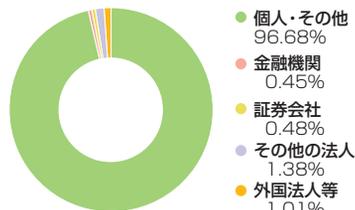
大株主

株主名	持株数(百株)	出資比率(%)
日本生命保険相互会社	10,574	7.63
ユシロ化学工業取引先持株会	7,191	5.19
株式会社三井住友銀行	6,226	4.49
スズキ株式会社	5,490	3.96
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	5,017	3.62
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	3,838	2.77
ユシロ化学工業従業員持株会	3,656	2.64
株式会社三菱東京UFJ銀行	3,161	2.28
三井住友海上火災保険株式会社	2,860	2.06
長瀬産業株式会社	2,437	1.75

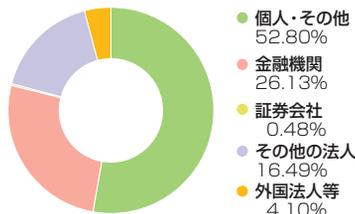
※当社は、自己株式13,461百株を保有しておりますが、上記大株主からは除いております。出資比率は、自己株式(13,461百株)を除いて算出しております。

株式の分布状況

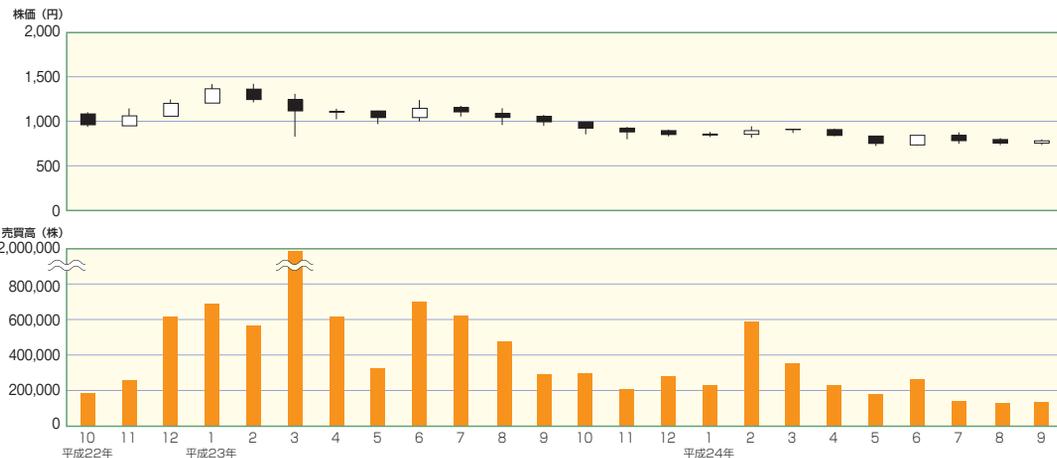
株主数比率



株式数比率



株価チャート



会社情報 (平成24年9月30日現在)

■ 会社概要

社名	ユシロ化学工業株式会社 YUSHIRO CHEMICAL INDUSTRY CO.,LTD.
本社所在地	〒146-8510 東京都大田区千鳥2-34-16 TEL(03) 3750-6761 FAX(03) 3750-1146
ホームページ	http://www.yushiro.co.jp/
設立	1944年(昭和19年)7月24日
資本金	4,249百万円
従業員数	328名(連結751名)
当社グループの 主な製品等	金属加工油剤関連 切削油剤、研削油剤、塑性加工油剤、表面処理剤、 アルミ離型剤、太陽電池用切断油剤、その他関連製品 ビルメンテナンス関連 樹脂ワックス、洗剤、フロアメンテナンス用機器 類、その他関連製品

■ 連結子会社

ユシロ運送株式会社
ユシロ・ゼネラルサービス株式会社
ユシロマニュファクチャリングアメリカ株式会社 [米国]
ユシロドブラシルレインダストリアケミカ有限公司 [ブラジル]
ユシロメキシコ S.A. de C.V. [メキシコ]
上海尤希路化学工業有限公司 [中国]
啓東尤希路化学工業有限公司 [中国]
広州尤希路油剤有限公司 [中国]
ユシロジェットケミカルズ株式会社 [マレーシア]
ユシロ(タイランド)株式会社 [タイ]
ユシロ(インド)株式会社 [インド]
PT. ユシロインドネシア [インドネシア]

■ 持分法適用関連会社

汎宇化学工業株式会社 [韓国]
株式会社汎宇 [韓国]
三宜油化股份有限公司 [台湾]

■ 役員

代表取締役社長	大胡 栄一
代表取締役会長	長井 禎明
常務取締役	広部 雅久
常務取締役	百束 立春
常務取締役	阪口 善裕
取締役	岸 裕次
取締役	岡本 晴夫
取締役	濱元 伸二
常勤監査役	千葉 保雄
常勤監査役*	佐々木 智
監査役*	野末 昭孝

(注) ※は社外監査役です。

■ 事業所

テクニカルセンター	神奈川県高座郡寒川町田端 1580
富士工場	静岡県駿東郡小山町湯船字湯船原 1157-2
兵庫工場	兵庫県神崎郡福崎町西治字栞尾 817-1
東京支店	東京都大田区千鳥 2-34-16
名古屋支店	愛知県名古屋市区緑区鳴海町杜若 100
大阪支店	大阪府枚方市池之宮 3-5-1
北海道営業所	北海道苫小牧市表町 5-4-7 苫小牧第一生命ビルディング3階
東北営業所	宮城県仙台市宮城野区宮城野 1-26-20
北関東営業所	栃木県小山市大字横倉新田 470-5
北陸営業所	石川県金沢市森戸 1-158
浜松営業所	静岡県浜松市中区高丘西 1-3-24
福山営業所	広島県福山市大門町野々浜向山 270-1
広島営業所	広島県広島市南区段原 2-14-11 田中ビル
九州営業所	福岡県福岡市博多区東比恵 3-11-2

株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 毎年6月

定時株主総会の基準日 3月31日

期末配当の基準日 3月31日

中間配当の基準日 9月30日

証券コード 5013

単元株式数 100株

株主名簿管理人及び
特別口座の口座管理機関

三菱UFJ信託銀行株式会社

同連絡先

三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
〒137-8081 東京都江東区東砂7丁目10番11号
電話 0120-232-711 (通話料無料)

公告方法

電子公告とし、当社ホームページ (<http://www.yushiro.co.jp/>) に掲載いたします。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

(ご注意)

1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

